

## 共同運営部門：感染症センター

### 一 関係部署一

総合内科・感染症内科	救命診療科	院内感染対策室
リハビリテーションセンター	薬剤科	看護局
臨床検査科	特殊任務看護師	放射線技術科
臨床工学科	事務局	

### 一 概要一

感染症センターは泉佐野市立感染症センターとして、輸入感染症の国内侵入を阻止するため1994年に関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設された。りんくう総合医療センターとして総合的に運用されていたが、1999年4月施行の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行以来、市立泉佐野病院の管轄下に移行した。現在は、西日本唯一の特定感染症指定医療機関であり、感染救急対応の機能を持つ感染症センターである。特定感染症指定医療機関としての役割を果たすべく、関西空港検疫所、大阪検疫所、大阪府等関連機関との会議や合同訓練、見学、医大生の実習受け入れ等を実施している。

これまでの経験として、2003年 鳥からヒトへ感染が認められたH5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが、パンデミックインフルエンザ(新型インフルエンザ)に変異することを危惧し体制の強化を図っていたところ、2009年4月豚由来による新型インフルエンザ(2009pandemicH1N1)が発生した。その際には、感染拡大防止のため、当センターが中心となり、国内、地域への大きな役割を担った。2014年、西アフリカでエボラ出血熱がアウトブレイクし、11月7日には我が国3例目(東京での2例目と同日)となるエボラ出血熱疑似症患者(ギニア国籍の20代女性)を関西空港検疫所から感染症センター高度安全病床(高度隔離陰圧室)に受け入れた。

2016年2月、安倍総理は「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」で、特定感染症指定医療機関について、エボラ出血熱の患者に対する海外での医療機関の対応も踏まえ、エボラ出血熱等の重症患者に対する集中治療が行えるよう設備の充実を計画的に進め、その機能の強化を図るという方針を出された。2016年3月15日(火)財務省と厚生労働省の方が当センターの視察をされた。集中治療のための準備をするべく2016年12月に集中治療の医療機器が設置された。2017年、厚生労働省より集中治療のための病室拡張の意向確認があり、2018年に高度安全病床(高度隔離陰圧室)の改修工事及び滅菌設備の更新等の工事整備を行った。病室の広さはこれまでの3倍となり、院内最大の集中治療対応の陰圧個室となった。

新興感染症の集中治療を高度隔離陰圧室内でfull PPE着用下にて医療者の二次感染を防ぎ安全に施行するには適切

なトレーニングが必要になる。米国にはすでにNational Emerging Special Pathogens Training and Education Center (NETEC)による確立されたコースがあるがわが国にはなかった。EVDの集中治療に成功したフランクフルト大学病院やネブラスカ大学医療センターからの技術研修等を通して、感染対策に十分に留意した気管挿管、中心静脈穿刺、CRRT、ECMOなどの集中治療施行手順を作成し、2019年10月にはわが国初となる一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ研修会を当院において開催し、特定感染症指定医療機関である国立国際医療研究センター、成田赤十字病院の感染症専門医、集中治療専門医、看護師、臨床工学技士からなるチームに対して技術指導等を行ったことは大変有意義であった。この経験を活かせたのが新型コロナウイルス感染症である。2019年12月、倭感染症センター長より、中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症の感染者が来院する可能性と対応の指示があり、2020年1月より大阪府、関西空港検疫所より新型コロナウイルス感染症疑い患者が相次いで来院した。(後に1名は当院の検査で陽性と判明) 3月、新型コロナウイルス感染症の重症者2例の受け入れを経験した。感染症センター高度安全病床にて手指衛生の徹底を基にした手順で、医師と特殊任務看護師、臨床工学技士が協力して感染対策に十分に留意して気管挿管、人工呼吸管理、CRRT等の集中治療を行うことができた。これまで行ってきた研修や訓練による成果を確認できたことは大変貴重であった。

重症者2名を含めた満床状態が続く中、新型コロナウイルス感染者数の増加により第1波に入る頃、当院の受け入れ体制が強化された。救命救急センターEICUで重症者4床、感染症センターは中等症10床の受け入れへ変更した。その後、5海病棟を軽症患者受け入れ病棟としたが、看護師の分散状態により看護師不足が生じ、感染症センター業務の継続が困難となり、9月18日に感染症センターを閉鎖した。その後は一類、二類感染症等の新興感染症の対応に備えつつ、新型コロナウイルス感染者数により適宜、感染症センターを稼働した。

2021年9月に感染症センターで新型コロナウイルス感染症患者に対する抗体カクテル療法外来を開設し、その後、10月～翌年1月まで入院患者(軽症・中等症)受け入れ病床として再稼働した。各部署からの支援を受けながら、各自の専門性を活かして外国人患者や透析患者、妊産婦など様々な背景を持った患者に対応した。一類、二類感染症等の新興感染症対応に必要な教育体制の見直しを行い、9月に特殊任務看護師

養成カリキュラムを開講した。高度な感染防御からクリティカルケア看護まで幅広い内容を網羅し講義には多職種の協力を得た。防護服の着脱を自立してできることを目標にスキルレベルチェック表を作成。レベル認定制度をつくり訓練へのモチベーションと安全意識の向上を図った。2022年5月～7月にCOVID-19病床以降のため感染症センターが稼働し、2023年3月以降も同理由で再稼働した。

一実績一

特殊任務看護師ミーティング(訓練を含む)

5月13日	6月10日	7月8日	9月9日	10月14日
11月11日	12月9日	1月13日	2月10日	3月10日

院内訓練研修(臨床検査技師)

11月1日～12月23日	検査機器取り扱い訓練	生化学、血算	31名
--------------	------------	--------	-----

院内訓練研修(臨床工学科 感染症対応チーム)

6月29日	防護服着脱訓練	4名
9月8日	防護服着脱訓練	2名

特殊任務看護師シミュレーション訓練

7月11日	1・2類感染症患者の気管挿管介助(手順検証)
10月14日	1・2類感染症患者の気管挿管介助
1月13日	1・2類感染症患者の排泄後の処置(手順検証)
2月10日	1・2類感染症患者の排泄後の処置

→2項目とも看護手順の修正が完了した。

特殊任務看護師養成カリキュラム

6月15日	せん妄患者の看護隔離された患者の苦痛緩和ケア
6月29日	二次救命処置
7月5日	エンドオブライフケアクリティカルケア領域における家族ケア
12月9日	ウイルス性出血熱・肺炎の病態と治療

→2023年4月時点で受講者20人中15人がすべての講義を修了した。OJT・OFF-JTの実施により、新興感染症対応スキルの向上に貢献できた。

特殊任務看護師 PPE 着脱訓練(回数)

6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6回	3回	4回	6回	4回	8回	6回	8回	8回

※1回=1ペア(2人1組)

厚労省研究班

6月12日(日)	2022年度第1回一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ 厚生労働行政推進調査事業 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応に関する研究」 倭正也、関雅之、水野友貴、深川敬子、山内真澄
1月28日(土)	厚生労働行政推進調査事業 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応に関する研究」(オンライン開催) 倭正也
3月5日(土)	2022年度第2回一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ 厚生労働行政推進調査事業 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応に関する研究」 倭正也、萩原文子、関雅之、水野友貴、深川敬子、山内真澄

大阪府会議

5月9日(月)	第20回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
5月16日(月)	第21回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会 倭正也
5月26日(木)	第22回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
6月14日(火)	第5回大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議 倭正也
6月16日(木)	第23回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
7月15日(金)	第24回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
7月26日(火)	診療型宿泊療養施設におけるコロナ治療にかかる連絡会(Web開催) 倭正也
9月14日(水)	第25回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
11月8日(火)	第26回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
12月8日(火)	第27回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也
3月20日(月)	第28回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会(書面による意見提出) 倭正也

厚生労働省 COVID-19 診療の手引き検討委員会

9月6日(火)	新型コロナウイルス感染症診療の手引き オンライン会議 倭正也
11月1日(火)	新型コロナウイルス感染症診療の手引き オンライン会議 倭正也

DMAT

8月20日(土)	令和4年度第1回新興感染症クラスター対応研修
8月21日(日)	倭正也
12月3日(土)	令和4年度第2回福井県社会福祉施設感染症対策チーム研修 倭正也
2月25日(土)	令和4年度第2回新興感染症クラスター対応研修 厚生労働省
2月26日(日)	DMAT事務局 倭正也

大阪府

7月15日(金)	新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関説明会(Web開催)「第7波における治療について」 倭正也
7月26日(火)	診療型宿泊療養施設におけるコロナ治療にかかる連絡会(Web開催)「第7波における治療について」 倭正也
8月24日(水)	令和4年度 第1回大阪府公衆衛生・感染症内科医師確保懇話会(Web開催) 倭正也
11月2日(水)	大阪府新型コロナ患者受入医療機関連絡会議(Web開催)「新型コロナウイルスの治療について」 倭正也

関西空港検疫所、大阪検疫所関連会議

6月27日(月)	令和4年度 大阪港・阪南港健康危機管理連絡会議 (1)新型コロナウイルス感染症に係る検疫対応の変更(6月1日～)について(大阪検疫所) (2)新型コロナウイルス陽性者が発生した船舶事例について(大阪検疫所) (3)大阪港感染症BCPについて(大阪港湾局) 井上寛
10月31日(月)	令和4年度 第2回 大阪港・阪南港健康危機管理連絡会議 (1)貨客船(釜山～大阪航路)の旅客輸送再開(大阪港)について(株式会社サンスターライン) (2)貨客船の検疫対応について(大阪検疫所) 井上寛
2月27日(月)	令和4年度 第3回 大阪港・阪南港健康危機管理連絡会議 (1)クルーズ船のガイドライン及び運航計画について (2)陽性者が発生した場合の対応について (3)国際クルーズ船への検疫対応について 倭正也

その他

4月15日(金)	社会福祉施設等における感染症発生時の感染制御・業務継続支援研修 厚生労働省DMAT事務局 倭正也
6月29日(水)	回復者血漿参加6医療機関において回復者血漿研究の成果物の契約部分、今後の方針検討(Zoom開催) 倭正也
7月13日(水)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「アドレノメデュリンを用いたCOVID-19による肺炎の重症化予防一医師主導治験Phase IIa」班会議 (Zoom開催) 倭正也
8月22日(月)	令和4年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 第1回「感染症指定医療機関の体制構築のための政策研究(22HA2003)」班会議 (Web開催) 倭正也
8月24日(水)	令和4年度第1回大阪府公衆衛生・感染症内科医師確保懇話会(Zoom開催) 倭正也
10月26日(水)	令和4年度AMED 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「日本国内におけるエボラ出血熱の治療・予防体制の整備に関する研究開発」研究班会議(Web会議) 倭正也
11月4日(金)	令和4年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 第2回「感染症指定医療機関の体制構築のための政策研究(22HA2003)」班会議 (Web開催) 倭正也
11月5日(土)	令和4年度 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「わが国における輸入熱帯病・まれな寄生虫症の診断治療体制の整備」班会議(ハイブリッド開催) 倭正也
12月13日(火)	令和4年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 第3回「感染症指定医療機関の体制構築のための政策研究(22HA2003)」班会議 (Web開催) 倭正也
2月15日(水)	令和4年度厚生労働行政推進調査事業(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「感染症パンデミックに即応する臨床研究体制に係るヒアリング」 倭正也

一 来年度への抱負一

新たな新興感染症対応に備えて、引き続きチーム全体で新興感染症対応のスキルアップを目指すとともに、リーダーシップを発揮できる人材の育成を行う。コロナパンデミック中に実施できていなかった搬送訓練については、来年度に行政と連携した全職種合同の訓練を行う。